

日本天文学会 2011 年春季年会のお知らせ

2011 年春季年会は、2011 年 3 月 16 日(水)から 3 月 19 日(土)までの 4 日間、筑波大学(茨城県つくば市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の第 104 巻 3 月号(2011 年 2 月 20 日発行)に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	備考
参加費	3,000 円(不課税) (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円(消費税込み)	
講演登録費	3,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み)	(1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円(消費税込み)	2,000 円(消費税込み)	

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※会員として年会に参加を希望される方は、講演申込時までに、必ず入会の手続きを済ませてください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	関連項目
講演申込	(郵 送)	2010 年 12 月 13 日(月) 必着
	(電子メール)	2010 年 12 月 7 日(火) 正午から 2010 年 12 月 14 日(火) 正午まで ^(注1)
		(3), (4), (5), (6) 参照
書画カメラ(OHP)の使用	2010 年 12 月 23 日(木) 正午まで	(5) 参照
複数講演の順序指定	2010 年 12 月 23 日(木) 正午まで	(7) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2011 年 3 月 3 日(木) 正午まで	(8) 参照
最新情報コーナー	年会会期中まで	(9) 参照
保育室の利用申込	2011 年 2 月 21 日(月) 正午まで	(10) 参照
講演の変更など	分かった時点ですぐに	(11) 参照
各種の会合申込	2011 年 2 月 21 日(月) 正午まで ^(注2)	(12) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2010 年 12 月 1 日(水) 正午まで	(13) 参照
懇親会の会期前申込	2011 年 2 月 28 日(月) 17:00 まで	(14) 参照
旅費一部補助	2011 年 1 月 20 日(木) 必着	(15) 参照
ジュニアセッション講演申込	2011 年 1 月 28 日(金) 必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照

(注1) 電子メールの自動受付は 12 月 15 日(水) 午前 9 時まで行いますが、12 月 14 日(火) 正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として 12 月 14 日(火) 正午までに投稿してください。

(注2) 2010 年 12 月 23 日(木) 正午までに申込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 幸村孝由(年会理事・工学院大学)

e-mail: committee2011@nenkai.asj.or.jp

電話/FAX: 042-628-4113

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail: committee2011@nenkai.asj.or.jp

電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 梅村雅之(筑波大学)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学計算科学研究センター

e-mail: umemura@ccs.tsukuba.ac.jp

電話: 029-853-6494 FAX: 029-853-6489

年会開催期間(2011 年 3 月 16 日~19 日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の 18 分野です。
J. 高密度星, K. 超新星爆発, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P1. 星形成, P2. 系外惑星, Q. 星間現象, R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V1. 地上観測機器 (電波), V2. 地上観測機器 (その他), W1. 飛翔体観測機器 (X 線・ γ 線), W2. 飛翔体観測機器 (その他), X. 銀河形成, Y. 天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の 1 件です。
A. 「巨大ブラックホールと銀河の共進化」(略称: 共進化)
世話人: 和田桂一 (鹿児島大), 谷口義明, 長尾 透 (愛媛大), 梅村雅之 (筑波大), 秋山正幸 (東北大)
- 企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込を行います。tennet などに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込に際しては世話人からの指示に従ってください。

(4) キーワード

- 分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- 観測機器分野 (地上・飛翔体) で, 関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- 特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び, それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎推奨キーワード

- 高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X 線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
- 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
- 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
- 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器: 電波, 赤外線, 可視光, X 線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- (a) 口頭講演 (9 分間の口頭発表と 3 分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと 3 分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表なし (ポスターのみ) の 3 種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- 講演者 1 人あたり可能な講演数は最大 3 件までです。また, (a) 講演は 1 人 1 講演までで, 3 件目の講演は (c) 講演 (ポスターのみ) に限ります。
- 口頭発表用にプロジェクトおよび書画カメラを用意します。ただし, 書画カメラを使用する場合は, 決められた期日までに, 年会実行委員会に申し出てください。プロジェクトに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ポスター 1 枚あたりのボードの大きさは, プログラムに掲載します。(通常は縦 180 cm, 横 90 cm です。)

(6) 講演の申込方法

- ◆ 郵送による申込みの場合
 - 規定の原稿用紙に記入し, 封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上, 日本天文学会年会係までお送りください。
 - 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上, e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求してください。
- ◆ 電子メールによる申込みの場合
 - 年会の Web ページに掲載します。
- ※ 講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し, (i) 十分な背景説明を行うこと, (ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること, の 2 点を心がけてください。これらに留意すれば, 大抵は 10 行以上の予稿になるはずで, 以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は, 受理しない場合があります。
- ※ 予稿集は事前配布となっており, 2011 年 2 月 20 日付で発行する予定です。年会の web ページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文, 特許に関係した論文等の講演をする際などは, 十分ご注意願います。
- ◆ 注意: 講演者は氏名の欄で○をつけてください (必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの

講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

- グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記 1, 2 を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号（分野、発表形式を含む番号）、2. 講演者名

(b) 講演は 3 件一括りが原則です。3 件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDL は、緊急性・トピックス性に富んだものに限り、約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- 上記の理由を添えて予稿原稿を期日までに年会実行委員会宛に送付してください。
- PDL の講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと 3 分間の口頭発表）、または (c) ポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）です。ただし、プログラムに余裕がない場合は (c) 講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDL より緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 年会会期中の保育室

- 保育室を設置する予定です。詳細は年会の Web ページに掲載しています。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へ e-mail (hoiku2011@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。
- 講演登録者は、講演申込後にキャンセル等しても会期終了までに講演登録費を支払う必要があります。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会実行委員会までご連絡ください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限りです。
- 申込みが多数の場合は、ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 2010 年 12 月 23 日（木）正午までに申込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- 多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

(14) 懇親会と参加申込みについて

- 懇親会は、2 日目（3 月 17 日）夜に筑波大学学生会館レストラン（プラザ）にて開催予定です。会費は天文学会会員かどうかにかかわらず、一般 5,000 円、学生 3,000 円の予定です。ただし参加券は 270 枚までの限定となっており、なくなり次第販売を終了させていただきます。会期前申込みの時点で参加券がなくなった場合、当日券の販売はいたしません。
- 会期前申込みは、後日 tennet でお知らせする Web ページからか、ハガキで申し込んでください。ハガキの場合は、氏名、連絡先（できれば e-mail アドレスも）、一般/学生の区分を明記して、年会開催地理事宛にお送りください。締切りは、Web の場合は 2 月 28 日 17:00 まで（ただし参加券完売の時点で申込ページを閉じます）、ハガキの場合は 2 月 14 日必着とさせていただきます。
- 懇親会の開催準備のため、参加希望の方は、できるだけ会期前申込みをご利用ください。

(15) 旅費一部補助について

日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

幸村孝由（年会実行委員長）